



題字 井口 文章  
再刊 第508  
印刷・発行  
錦城高等学校新聞委員会  
編集室 2026

みんなでつくる  
錦城高校新聞

一面…修学旅行直前！  
アメリカホームステイから帰国して…  
二面…海外大学へ進学した先輩方による講演会  
吹奏楽部アンサンブルコンテストで金賞

# 2年生来週から山形・蔵王修学旅行へ

## PR・記念品など準備完了！



二号館玄関に貼られたPR新聞。顔はめパネルもあります！

いよいよ来週、62回生が1月26日(月)から30日(金)まで行われる山形・蔵王修学旅行に出發する。ここまで精力的に活動してきた修学旅行PR係の生徒に取材した。

### 星の放送でインタビュー

修学旅行直前の1週間、お星の放送で修学旅行の経験のある先生や、昨年経験した61回生のインタビューが放送された。この放送は修学旅行

PR係が企画したもので、企画チーフを務める金子優歩さん(2G)は「生徒目線ではない先生方にとつての修学旅行を知る機会はありませんで、新鮮でいいんじゃないか」と話す。

金子さん自身は「スキーの雰囲気はわからなくて怖かったけど、意外と大丈夫って知れて安心できました」と振り返る。修学旅行では旅館の温泉を1番楽しみにしているという金子さん。62回生に「この学校での最後の宿泊行事なので、2学年一同、5日間全力で楽しめたいと思います！」と呼びかけた。

### 修学旅行までカウントダウン

「楽しい修学旅行にしてほしいです」と話してくれたのは修学旅行PR係の榎本ありさん(2E)。榎本さんは、日めくりカレンダーの作成に携わった。PR係で話し合っ

から行く修学旅行がいつそう楽しみになりましたが、PR係でよかったと思える瞬間だったと話してくれた榎本さん。62回生には「楽しむことを第一にしてほしいです。これから受験生になつていくつれて遊べる日が限られてしましますが、修学旅行を高校の思い出に残るようなものにしたいです。」とメッセージを送った。日めくりカレンダー、修学旅行PR新聞、顔はめパネルは1年生・2年生の昇降口前に飾つてある。

### ※※※

修学旅行直前です。改めて、ルールや時間を守ることを意識し、みんなで楽しい思い出を作りましょう！

## ホストマザー開口一番「太る準備はいい？」

### 米ホームステイで学ぶ異文化

昨年12月20日(土)から1月4日(日)、希望した1年生がアメリカホームステイ研修に参加した。そのうちの1人である山本美理亜さん(1D)がホームステイをしたのはカリフォルニア州にあるアッブルバレーという町だ。治安が良いところだというが1人で外を歩いてはいけなかったり、家の玄関の扉を開けると



クリスマスに彩られたアメリカの街並み

アラームが鳴る仕掛けがあったりで、改めて日本の治安の良さを感じたそう。山本さんはIN・N・OUT・BINGOというチェーン店のボテトの裏メニューをホストファミリーに教えてもらったそう。で、アメリカスタイルというフライドポテトに特製のソースや炒めた玉ねぎを載せたものをまた食べに行きたいと話してくれた。また、ホストファミリーに合ったときに一番「また機会があればホームステイをしたいです」と話してくれた。

## 修旅記念品「Tシャツデザインが決まりました！」

1月末に行われる62回生修学旅行で、スキーのインストラクターの方に渡す記念品のTシャツをデザインした、松井幸さん(2A)、安野朱里さん(2D)、向山奏湖さん(2G)にお話を伺った。背景の絵を担当した松井さんは、Tシャツのデザインについて、「去年の記念品を見せてもらって、いい感じに受け継ぎつつも新しいものを作ろうと思いました」と話す。背景には樹氷を描き、行き先である蔵王らしさを表現したという。安野さんは人物の絵を担当。人のポーズや白黒の印刷でも映えるような光と影の入れ方を工夫したと語った。文字と装飾を担当した向山さんは、「文字のデザインを筆で書くのが初めてだったんですが、頑張りました」と振り返った。装飾では蔵王にいるキツネを描いたそうだ。修学旅行で楽しみにしていることは、松井さんは1日目の松島遊覧船の観光、向山さんは現地のご飯を食べること、安野さんは夜に友達と宿舎で過ごすことだと、それぞれ笑顔で話してくれた。3人は、実際に記念品を見る機会があればぜひ見てみてほしいと言い、「蔵王楽しもう！」と62回生の仲間に向けて明るく呼びかけた。



## 文藝部部誌に放送部の脚本「ぜひ手に取ってみて」



部誌を囲んでポーズ

文藝部が今年1月に発行した部誌『透夜』No.5で、放送部が昨年11月に第48回東京都高等学校文化祭放送部オーディオドラマ部門で優秀賞を受賞した作品『掬い、救われ』の原稿を掲載する特別企画が行われた。

この放送部×文藝部の特別企画について、「久しぶりに賞をとって、文藝部の方が目をつけてくれました。放送部は普段日の目を見ないからありがたかったです」と話すのは放送部の永井智汎(2L)さんと金明日歌さん(2D)。作品のテーマは「オカルト」で、オカルトが生まれるには実際に悲しい物語があることを伝えたかったという永井さん。今回の特別企画を振り返り永井さんは「脚本組は文藝に興味があったので感謝感激でした。文藝部の方と交流ができて楽しかったです」と語った。今後のコラボについて何うと金さんは「お声かけ頂いたらやりたいです。文藝部の方から声をかけてもらえるように精進します。ちなみに、放送部はいつでも新入部員募集中です」と意気込んだ。

特別企画を発案したのは文藝部部長の松井幸さん(2A)。このようなコラボは前からしてみたかったらしく、「過去の部誌を見てもコラボってあんまり無かったので、自分が部長になってからできて良かったです。他の部とも、またコラボできたらなと思ってます」と語った。『掬い、救われ』について何うと、放送部が初めて作った作品だとお聞きしたのに、完成度が高く驚きました。なお、部誌は絶賛配布中ですので、ぜひ手に取ってみてください」と話した。

## 写真部 最優秀学校賞を受賞 「人の心を動かす写真を撮っていきたい」

写真部は昨年12月22日(月)に、第48回都立高校文化祭・写真部門中央大会で最優秀賞4人、優秀賞2人、佳作3人が選ばれた。さらに、部員個人の入賞数を合わせる学校賞で、見事最優秀学校賞を獲得した。

今回最優秀賞を受賞した1人である渡邊昂さん(1J)は、「夏の地区大会では入選できず、とても悔しい思いをしたので、冬の大会で最優秀賞を取れたのは、シンプルにうれしいです」と受賞を振り返る。今回の渡邊さんの作品は室内楽部とのコラボで、撮影会の時は明かりを消して、ライトだけを使って撮ったそう。真っ暗な部屋と楽器の色がコントラストとなって、とてもきれいな写真になりました」と続けた。

写真部は渋谷や新宿などの都内に、定期的に遠征を行っている。遠征では、生徒はそれぞれ自分達の撮りたいものを自由に撮っているという。そして生徒が撮った写真をグーグルフォトで共有して一緒に写真を組んで、「組写真」を作ったり、先生がコメントをしたりしているそう。顧問の門前先生は最優秀学校賞の受賞について「先生と生徒が協力して作品を作り上げていくということが、今回のような素晴らしい結果につながったのだと思います」と話す。写真部の生徒は「これから遠征などを通して腕を磨き、人の心を動かすことのできる良い写真を撮っていきたい」と意気込みを語ってくれた。写真部の今後の活躍に期待が高まる。



渡邊昂さんの作品「静寂を弾く」

(葵)

## 「次に向けて高みを目指す」

### ソフトテニス部男子ベスト16



さらなる高みを目指して(ソフトテニス部提供)

昨年12月26日(金)、エスフォルタアリーナ八王子で開催された東京都高等学校ソフトテニス大会(東京都高等学校ソフトテニス大会)の男子の部予選が行われ、ソフトテニス部がベスト16に入賞した。部長の山川颯太さん(2E)は「部員の1人が足を怪我して行けなかったから、一敗もできなくてすごく緊張して

掛けた。最後に「新入部員をいつでも待ってます！」と明るく呼びかけた。

## むらさき草

小学1年生の時、母の携帯電話に電話をかけた。留守電になったのだが、当時の私は名前を呼べば電話に出られると思ったらしい。結果、親の名前を連呼している留守番電話が完成していた。再度の電話では「お名前とご用件をお伝えください」と名前とご洋服をお伝えください」と聞き間違えたらしく、「えつと服の色は：黄色！」と答えた私。その留守電を母が今でも大切に保存していて、家族全員で大爆笑した。芸能人のかつみ・さゆり。株取引の大失敗で1億7千万の大借金を負っていることを持ちネタにしている。真夏の夜中に電気がガスも止められて、クリスマス用のキャンドルを灯して二人で汗だくになりながら生ぬるい水で乾杯したそう。真夏のクリスマスやわって無意識に口からでたそう。二人は「どんなしんどいことも、何年か経ったらすてきな思い出に変わると実感したことが、自信になりました」「しんどいことが起こっても、また私の人生に良い思い出がひとつ増えた。『ラッキー』って思っています」とインタビューに答えている(朝日新聞2021年10月2日)▼失敗を笑い話にかえることができるというのは笑話にできるほど当時の自分が反省をし、その経験を生かして努力を重ねるタイプに受け止めている人たちが言えることなのではないだろうか▼私もいろいろを二人のような「ラッキー」にできるように、ポジティブに生きていきたい。

(蒲)



# 海外進学「必要なのは行動力」

## マレーシア大学留学 卒業生講演

1月25日(木)放課後、卒業生を招いてマレーシア大学進学講演会が行われた。錦城59回生でモナシユ大学に進学した赤尾翔太さんと、同じく錦城59回生でマレーシアのアジアパシフィック大学(A.P.U.)に進学した白石里桜さんが、海外への進学に興味を持つ生徒や保護者に向けてマレーシアならではの体験や進学理由について語った。

### 新しい視点で日本を見る

お二人によると、日本とマレーシアの季節はほとんど反対で、現在は夏休みのような期間であるという。白石さんがマレーシアの大学進学を選んだ理由は、デュアルディグリーという2つの大学の単位を同時に取ることのできるシステムや安い物価、治安の良さなどに魅力を感じたこと。赤尾さんは、大学を探している際にテイラーズ大学と呼ばれる、海外の私立大学が日本

の入学者を募集する制度を見つけ、実際にマレーシアを訪れ、入学したいと感じたことがきっかけで、「その時はノリも少しありました」とほほえみながら語った。白石さんは「A.P.U.に進学して良かったこととして、自分の意見をはっきり言えるようになる、メンタルが強くなる、毎日新しい体験ができる、などを挙げる。特に「新しい視点で母国を見ることができるようになったことが一番大事だ



外国ならではの良さを語る白石さん



マレーシアからいらしたお二方。写真は福江先生提供

### 海外大学進学の魅力

講演会の後半では、事前に参加者から寄せられた質問に2人が答えてくれた。講演会の最後に、白石さんは「留学は将来の選択肢を広げることにつながる。興味を持ってほしいです」と話してくれた。赤尾さんは「留学は人を大きく変えるものなのでよく考えてほしいが、とてもおすすめです

講演会に参加した中村遼太さん(1B)は、「海外への進学の理解が深まり、講演を受ける前よりも、行ってみたい気持ちが強くなりました。ですが、自分の将来に関わる重要な選択なのでよく考え、調べ、その上で選みたいです」と自身が考える、海外への進学について話してくれた。

# 洗練された音色を奏でて

## 吹奏楽部 クラリネット七重奏金賞

12月27日(土)・28日(日)、府中の森芸術劇場で行われた第49回東京都高等学校アンサンブルコンテストに吹奏楽部が出場し、クラリネット七重奏が金賞、打楽器五重奏が銀賞を受賞した。

クラリネット七重奏で出場した城戸夏葵さん(2E)と上岡小桃さん(2K)は、演奏曲の『フィロメラ』にはスイングの部分があり、その雰囲気を出すのが大変だったと話す。お手本の動画をバートで見ると、大会を振り返って、城戸さんは「初心者や一年生も多い中でここまで来られて嬉しかったです」と笑顔を見せ、「パートの皆さんにはたくさん支



仲間への感謝を伝える

えてもらいました。ありがとうございました。感謝した。

上岡さんは「アンサンブルコンテストのために練習してきたことを、これからは活かして行きたいです」と前向きに意気込んだ。

打楽器五重奏「the wave」ソロリンバと四人の打楽器奏者のための、でソリストを務めた亀田彩音さん(2M)は「技術面では成長できた」と振り返り、「定期演奏会ではさらに良い演奏ができたいと思います」と意気込みを教

## egg park さんに編集部員も行ってきましたよ



12月某日、編集部員でegg park に行ってきました！300円のふわふわパンケーキで心も体も癒されました。ぜひ皆さんも行ってみてください。

## スキー同好会合宿

### 雪に学ぶ人の温かさ

終業式の翌日から始まった、スキー同好会による冬合宿。今回の合宿は12月21日から23日までの三泊三日で行われた。バスに乗って長野県菅平高原にあるスキー場まで行き、3日間、思う存分スキーを楽しんだ。雪があまり積もっていないため滑りにくいくところもあったが、部員で助け合いながらすいすい滑った。スキーの技術を先生方から教わり、スキー板を平行に



山頂での集合写真

して滑るパラレルや、カッコいい止まり方などたくさんのもので得られた。また、野生のリスや雪景色、山から見る雲の合間から差す夕日など、美しい自然を全身で感じたり、ボリューム満点の美味しいごはんで合宿の期間を元気に過ごしたりすることができた。そして、食後に部員で雪合戦をして、冬の雪国ならではの遊びに夢中になった。最終日には自由に滑れる時間があり、各々好きなようにスキーを満喫していた。

## 室内楽部クリスマスコンサート開催！

### タケコプターをつけての演奏も大盛り上がり



澄んだ音が響き渡る

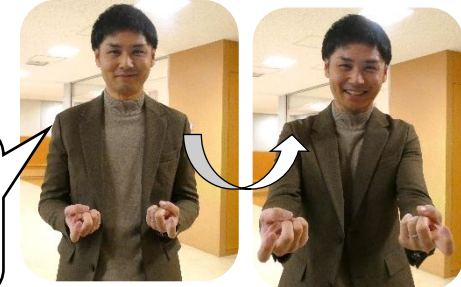
昨年12月23日(火)にルネこだいら中ホールで室内楽部によるクリスマスコンサートが行われた。第一部は「G線上のアリア」で幕を開け、ホール内がゆったりとした雰囲気であふれた。続いてはコンサートの定番曲である「愛の挨拶」。3曲目、「カプリオール組曲」は第1楽章、第2楽章、第5楽章、第6楽章が演奏され、それぞれの異なる雰囲気でお客を盛り上げた。

休憩を挟み、第二部。「夢をかなえてドラえもん」では、ドラえもんのタケコプターを着けた一年生が演奏し、指揮者の横にもドラえもんが登場。二年生による「Soranjji」が続き、「ドクターXのテーマ」では赤色のスポットライトで舞台を照らしながらドラマの名台詞「私、失敗しないので」を使った寸劇で会場内を温めた。

最後の第三部では、最初に「メヌエット」という曲が披露された。チェロ二重奏として有名だが、今回は外部指導者の松本先生の協力もあり、コントラバス二重奏が実現したそうだ。クリスマスを連想させる曲の連続。さらに、トナカイの服を着た部員が出てきたりと会場は大いに盛り上がった。「ラストクリスマス」ではなんと、室内楽部の顧問、神谷洋行先生が生歌を披露してくれた。会場は驚きと拍手に包まれ、コンサートはゆっくりと幕を閉じた。

インスタグラムの投稿を見て来場してくださった他校の生徒二人は、「コントラバスだけの演奏があり、楽器の良さが伝わりました。知っているポップスも多くて良かったです」と笑顔で話した。観客からも大絶賛の素晴らしいコンサートだった。(水)

## 手話を覚えよう！⑬



今回手話を実演してくださったのは、英語科の神谷洋行先生。第16弾で紹介するのは、「スキー」という手話だ。両手の人差し指をまげて手前から奥に押し、というもの。もう少して2年生はスキーです。楽しんで！

手話を覚えるという事は、話せる言語が増えるという事。コミュニケーションをとれる人が増えることだから、自分の視野を広げることにもつながります(神谷先生)

## 合唱祭準備進む

### スローガンは「奏思奏愛、美しいハーモニーを」

### 音楽によって仲を深めよう

2月17日(火)に行われる合唱祭の準備が進められている。今年度の合唱祭の準備が深まり、講演を受ける前よりも、行ってみたい気持ちが強くなりました。ですが、自分の将来に関わる重要な選択なのでよく考え、調べ、その上で選みたいです」と自身が考える、海外への進学について話してくれた。

今年度は審査に大きな変更点があるとのこと。4月に行われた合唱祭に関するアンケートでは、投票操作がうまくいかない、時間がかかるなど生徒全員投票に対する意見があった。今年度は音楽知識が豊富な先生方に審査をお願いしているそう。また、1年生は音楽クラスが入賞しやすい傾向にあるため、音楽選択のクラスとそれ以外のクラスで審査を分けることが決まったと教えてくれた。それに加えて美術・書道選択のクラスに対して放課後に1クラス一回ずつ、音楽を教えている新野先生が指導してくれる予定だそう。

今日の日程についても大きな変更点がある。昨年度の合唱祭はたましんホールで行われたのに対し、今年度は小平駅徒歩3分のルネこだいらで開催される。昨年度同様現地集合になるそう。小口さんは、「どうやらより楽しい合唱祭になるか一生懸命考えています。それぞれ

	合唱曲	アーティスト
1A	奏	スキマスイッチ
1B	115万キロのフィルム	Official髭男dism
1C	COSMOS	Mimasu
1D	空も飛べるはず	草野正宗
1E	正解	RADWIMPS
1F	僕のこと	Mrs.GREEN APPLE
1G	あなたへ〜旅立ちに寄せるメッセージ〜	筒井雅子
1H	春愁	Mrs.GREEN APPLE
1I	全力少年	スキマスイッチ
1J	証	flumpool
1K	海の幽霊	米津玄師
1L	キセキ	GR4N
1M	Chessboard	Official髭男dism
2A	カイト	嵐
2B	チェリー	スピッツ
2C	あとひとつ	FUNKY MONKEY BABYS
2D	スパークル	RADWIMPS
2E	群青	YOASOBI
2F	Laughter	Official髭男dism
2G	アイノカタチ	MISIA
2H	大丈夫	RADWIMPS
2I	This is me	キアラ・セトル
2J	プレゼント	SEKAI NO OWARI
2K	群青	小田美樹
2L	RAIN	SEKAI NO OWARI
2M	水平線	back number

今年度の審査は先生方のみ点があるとのこと。4月に行われた合唱祭に関するアンケートでは、投票操作がうまくいかない、時間がかかるなど生徒全員投票に対する意見があった。今年度は音楽知識が豊富な先生方に審査をお願いしているそう。また、1年生は音楽クラスが入賞しやすい傾向にあるため、音楽選択のクラスとそれ以外のクラスで審査を分けることが決まったと教えてくれた。それに加えて美術・書道選択のクラスに対して放課後に1クラス一回ずつ、音楽を教えている新野先生が指導してくれる予定だそう。

今日の日程についても大きな変更点がある。昨年度の合唱祭はたましんホールで行われたのに対し、今年度は小平駅徒歩3分のルネこだいらで開催される。昨年度同様現地集合になるそう。小口さんは、「どうやらより楽しい合唱祭になるか一生懸命考えています。それぞれ

## 大会報告

吹奏楽部  
▽第30回TAMAアンサンブルフェスタ  
12月25日(木)

銀賞 金管八重奏  
▽第49回東京都高等学校アンサンブルコンテスト  
12月27日(土)、28日(日)

金賞 クラリネット七重奏  
銀賞 打楽器五重奏  
ソフトテニス部  
▽関東高等学校選抜ソフトテニス大会「男子の部」予選  
12月26日(金)

## 生徒会動静

11.12~12.20

▽体育学芸委員会  
1月20日(火)  
▽合唱祭実行委員会  
随時活動中